



137期生「3年間のSSH活動をふりかえって」①

137期生(現3年生)に、これまでのSSHの諸活動について、いくつかのテーマで文章を執筆してもらいました。今回は、3年1組から6組までの探究系の皆さんにお願いしました。

「一年次SSHをふりかえって」

一年次には再生可能エネルギーの分野の探究を選択しました。その探究活動の中で、再生可能エネルギーと言っても、さまざまな種類があることを学びました。各エネルギーによって、環境に及ぼす影響、費用、発電効率などが異なり、一概に発電に関して再生可能エネルギーへの移行を推し進めることは難しいことを知りました。しかし、探究活動の一環として、フィールドワークを行ったり、専門家の話を聞いたりしたことで、見聞を深めることができました。また、得た情報をグループで話し合い、洗練して、より高次の探究活動を行いました。そして、これらの探究活動を通して、高校生ならではの視点から、自分たちが自信を持って発表できるような論文を考えることができ、最終的には1年間の活動を実りあるものにすることができました。

137期 3年1組 S (本宮二中)

「2年次の探究を振り返って」

2年次の探究では、1年次の探究とは異なり、SDGsの同じカテゴリに関心のある他クラスの人たちとグループを作って活動しました。フィールドワークを行い、具体的なデータを求めたり、文献調査等を行って知見を深めることができました。そしてシニアサポーターの皆さんから有意義な助言をいただいて、探究の内容をさらに洗練することができました。ポスター発表会では今までの成果をポスターにまとめて、工夫を凝らしながら発表し、他の班の発表を聞いて新たな視点を得ることができました。3年次の探究では、2年次の探究活動を論文としてまとめ、自分たちが行ってきた探究活動の集大成としました。論文の書式を調べて、慎重に書く必要があり、とても大変な作業でしたがシニアサポーターの皆さんの力を借りてついに論文を完成させることができました。今までの活動を通じて様々な事に疑問を持ち、探究していくことの大切さを知ることができました。安積高校での探究活動は終わりとなりますが、これから先の長い人生を探究者として生きていきたいと思えます。

137期 3年2組 O (郡山ザベリオ中)

// S (本宮一中)

「探究活動」

私は2年次に、都市と地方の教育格差について探究活動を行いました。まず初めに、「学歴が高いほど年収が高い」という傾向にあり、その上で一般に高学歴と言われるような難関大学の合格者数は地方部よりも都市部に多い傾向にある現状に着目しました。その都市と地方の格差を是正する方法を考えていたところ、シニアサポーターの方から、英検やTOEICなどのインターネットの活用が有効なのではという助言をいただきました。地方部の人々と都市部の人々との選択肢の幅の差を少なくできるインターネットを用いるべきということが分かりました。また3年次では、2年次に活動したことを論文にしました。論文作成にあたり、普段は気にしないような言葉遣いや構成などに気を配り、大学等に進学した際には必須であるため、素晴らしい機会となりました。

137期 3年3組 Y (明健中)

「観光甲子園全国大会出場！」

私の3年間のSSH活動を振り返って1番心に残っているのは観光甲子園に出場したことです。観光甲子園とはSDGsに基づいた修学旅行プランを立てて全国で競うもので、結果として私たちの班は457チームの中から決勝5チームの中に残ることができました。私たちは自然あふれる猪苗代町を取り上げ、猪苗代湖の水質低下に着目し、原因のひとつである菱の実を用いて水質改善と観光を結びつけました。そこから町の経済発展につながるようなプランを立てました。この甲子園に出場するにあたり、実際に猪苗代町役場やカワセミ水族館、猪苗代湖などに何度も足を運び、猪苗代町の地域おこし協力隊の長友さんに話を聞きました。様々な自然体験をしながら全国大会にまで出場することができ、とても心に残る探究活動ができたと思います。



137期 3年5組 K (猪苗代中)

裏面につづく



137期生「3年間のSSH活動をふりかえって」②

「SSHの活動を振り返って」

SSHの3年間の活動では、他の学校では経験することができないような有意義な活動をたくさんすることが出来たと思う。その中でも、自分自身が最も成長できたと感じた活動はグループワークだ。中学校までに行った調べ学習と安積高校で行った探究活動の一番大きな違いは、調べる物事に対して答えが有るか無いかということだと思う。探究活動では明確な答えがない問いに対してグループで試行錯誤しながら考察を深めることで、探究をした分野の知識を深めるだけでなく、協調性やコミュニケーション力を付けることが出来たと思う。3年間のSSH活動を通して、これから生きていく上で必要になる能力を身につけることが出来たと思う。また、現在の世界の状況についての見識も深めることが出来たため、本当に有意義な活動だったと思う。



137期 3年6組 S (郡山一中)
" F (郡山五中)

日本の医師の男女比

日本の職業には男女比が偏っていて何らかの問題が生じているものがあるということに興味を持ち、そのような職業の象徴とも言える医師の男女比は男性8:女性2と極端に女性が少なく、立場が弱くなってしまいうなど男女不平等な点がある。そこで、男女比の差が小さい外国の仕組みや制度を取り入れ、この極端な差を縮めることが男女平等を実現することに繋がると考えた。

1 序論

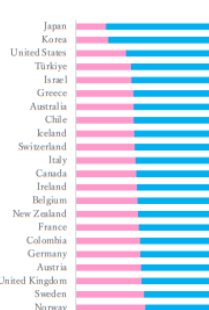
私たちが住む日本の職業には男女比が偏っていて何らかの問題が生じているものがある。男女比に偏りがある職業はパイロットや警官など様々だが、その中でも特に有名なのは医師であり、女性が極端に少ない。

男女比の偏りにより生じる問題には、少ない方の性別の人の意見が通りにくくなる、立場が弱くなってしまふなどがある。

2 研究方法

主にインターネットで日本及び世界の国々の医師の男女比、またそのような男女比になった原因・理由について調べた。さらに現在進行形での問題に取り組んでいる本田宏先生から関連性の高い文献や、現場の声、貴重なアドバイスを頂いた。

世界の医師の男女比



SS探究Ⅱ(3年)では論文作成を行いました。上は完成した論文の一部となります(メンバーは3年4組の生徒)。普通クラスではシニアサポーターからご指導いただけただことで探究活動の質が上がり、論文の内容も洗練されたものになってきました。

今後のSSH関係の行事日程(7~8月)

◀7月▶

- ・ 20日(木) 進路・SSH文化講演会(全年/年次)
- ・ " 未来の科学技術を担う人材育成のための少人数ゼミ② [災害医療・教育・平和]
- ・ 夏季休業中 SS探究Ⅰ フィールドワーク(1年)
- ・ 22日(土) START2023(山形県立東桜学館高等学校 英語プレゼンテーション大会)【代表】
- ・ 24日(月) 福島現在の放射線に関する
- ・ & 28日(金) アクティブ・ラーニング型授業(希望者)
- ・ 25日(火) 原発処理水学習会(希望者)
- ・ 28日(金) 第1回SSH地域連絡協議会(教職員)
- ・ 29日(土) 国際メンタリングワークショップ
- ・ ~ 31日(月) Joshikai in Fukushima 2023【代表】
- ・ 30日(日) 日英サイエンスワークショップ【代表】
- ・ ~ 5日(土)

◀8月▶

- ・ 1日(火) 安積高校学校説明会 ※1
- ・ 2日(水) エssen交流事業(以下、ドイツ班)
- ・ ~ 3日(木) 県内研修(福島県浜通り方面)【代表】
- ・ 4日(金) つくばサイエンスツアー(1年希望者)

- ・ 4日(金) あすびと福島主催(希望者)
- ・ ~ 6日(日) 「石巻・南相馬フィールドスタディ」 ※2
- ・ 7日(月) 国際高校生放射線防護ワークショップ
- ・ ~ 9日(水) (以下、フランス班) 県内研修【代表】
- ・ 8日(火) 全国SSH生徒研究発表会 in 神戸【代表】
- ・ ~ 10日(木) 「オリジナル麹菌の活用」
- ・ 19日(土) シニアサポーター説明会(卒業生)
- ・ 23日(水) 船橋高校来校(夏季休業中の各種事業に参加した生徒が中心となって交流会)
- ・ 31日(木) 少人数ゼミ i ② (F-REIトップセミナー) 2年SSクラス全員+希望者参加 ※3

※1 探究班で集約しているものは現時点で以下の通り

- ・ 3年SSクラス10班 ・ 3年A~Gゼミから8班
- ・ 2年SSクラスから数班 ・ 観光甲子園1班
- ・ 東桜学館2班 ・ 少人数ゼミ1班 ・ ドイツ研修2班
- ・ フランス研修3班 ・ 国際共同課題研究1班
- ・ 地理オリンピック1班 ・ 探究班(教員)2班
- その他、実施したいものがあれば探究班まで

※2 希望者は探究班まで

※3 募集要項は夏季休業明けに各クラスで配付予定

◀諸連絡▶

◎139期SSクラス希望者の皆さんへ

これから皆さんに様々なイベントを紹介したり、各種学習会に参加してもらう機会が増えていくと思います。それらは、次年度以降の皆さんの探究活動をよりよいものにするために行うものとなります。目的意識を持ち参加しよう。

◎イベント及び大会等周知 Classroom

本校には様々なイベントや大会などの案内が届きます。その告知用のGoogle Classroomを開設してあります。全般用と国際交流関係用がありますので、希望者は探究班か、クラスの探究係まで。